

備前市事務事業評価表

事務事業名	救急医療事業	コード	02-02-06-05
		担当課・係	保健課・健康係
		担当者	白髭 由美子
事業実施期間	昭和49年10月1日～	電話	64-1820
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり	
	中項目(基本施策)	健やかで生き生きしたまちづくり	
	小項目(施策)	健康づくり	

事業について	
目的 (何のために)	救急医療体制の充実により、救急患者に対する医療を確保し、健康で安心・安全な生活の環境を整備する。
対象 (誰・何を対象に)	救急医療を必要とするすべての人
内容	和気医師会への在宅当番医事業の委託 県南東部圏域5市4町（H19.1.22～5市2町）が共同で整備する二次救急医療体制整備に伴う経費の負担

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など(単位)	18年度 回数など(単位)	回数など(単位)
在宅当番医療機関受診者数	2,199人	2,107人	
二次救急医療機関受診者数	813人	707人	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	3,400	国庫補助金等		直接事業費	3,309	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	756	受益者負担		人件費	885	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	4,156	市債	一般財源等	4,156	合計	4,194	市債	一般財源等	0	合計	0

必要人員	0.11人	0.10人	
結果指標名	救急医療機関受診者数		救急医療機関受診者数
結果指標量	3,012	2,814	
単位	人		人
対前年比	93.43%		0.00%
活動にかかるコスト	4,156,000円	4,194,000円	
単位当たりコスト	1,380円	1,490円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	救急医療を必要とする人が、スムーズに適切な医療の確保ができることが事業の成果といえる。しかし、受診者数の把握はできるが、必要数や医療の質や対応速度等については把握が難しく、問題の指摘が無いことから、現在ほぼ適切な医療提供ができ、成果が得られていると考える。		
成果指標名	救急受診者数		
	式又は説明		
	17年度	18年度	
成果指標量	3,012	2,814	
対前年比	—	93.43%	0.00%
到達目標値		到達目標年度	—

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等： 医療法	妥当性評価<A~E> B 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	地方公共団体が体制整備をするよう医療法で規定されているため、妥当な事業である。また、休日の救急患者に対して、適切な医療の確保が図られている。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> A 課題認識
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	在宅当番医運営は最も身近な和気医師会に委託しており、経費は毎年の備前市と和気町の人口比率によって分担を決めている。また、二次救急医療負担金は、県南東部圏域5市4町で応分の負担をしている。従って、単位あたりコストは適正と考える。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> B 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	救急医療が必要な市民に適切な医療提供しており、有効な事業である。
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	和気医師会への在宅当番医事業の委託 県南東部圏域5市4町が共同で整備する二次救急体制整備に伴う経費の負担
目標値	結果指標量 3,000	結果指標量	
	成果指標量	—	

総合評価	少子高齢化に伴い、救急医療を必要とする市民は増加すると考えられる。市民の救急医療に対するニーズを踏まえながら救急体制の整備を図る。	評価区分 <A~E> B
------	---	--------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	---	---

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	和気医師会・県南東部圏域救急医療体制推進協議会等の関係機関と連携を密にする。	随時	患者のスムーズな受入体制の充実が図れる。